

\*2014年12月改訂（第5版）  
2007年 5月改訂

緩下剤  
日本薬局方  
**硫酸マグネシウム水和物**  
Magnesium Sulfate Hydrate  
\*硫酸マグネシウム「トミタ」

日本標準商品分類番号	
872355	
承認番号	(60AM)1332
薬価収載	1985年 7月
販売開始	1985年 8月
再評価結果	1986年12月

貯 法：密閉容器  
室温保存  
使用期限：外箱に表示

\*【組成・性状】

1. 組成

本品は1g中、日本薬局方硫酸マグネシウム水和物1gを含有する。

2. 性状

本品は無色又は白色の結晶で、味は苦く、清涼味及び塩味がある。

\*【効能・効果】【用法・用量】

効能・効果	用法・用量
〈経 口〉	
便秘症	硫酸マグネシウム水和物として1回5～15gを多量の水とともに経口投与する。
〈注 入〉	
胆石症	25～50%溶液20～50mLを十二指腸ゾンデで注入する。
〈注 射〉	
低マグネシウム血症	硫酸マグネシウム水和物として、通常成人1日2～4gを数回に分けて筋肉内注射あるいは極めて徐々に静脈内注射し、血中マグネシウム濃度が正常になるまで継続する。なお、年齢、症状により適宜増減する。
子痲	1回10～25%溶液10～20mLを筋肉内注射あるいは徐々に静脈内注射する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、増量する場合は注意すること。
頻脈性不整脈	10%又は25%溶液を徐々に静脈内注射する。その際、硫酸マグネシウム水和物として2.5gを超えないこと。

【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- (1) 腎障害のある患者〔血中マグネシウム濃度が上昇するおそれがある。〕
- (2) 高マグネシウム血症の患者
- (3) 腸内寄生虫疾患のある小児〔腸管よりマグネシウムが吸収されやすく、中毒を起こすおそれがある。〕
- (4) 心疾患のある患者〔マグネシウムは心機能を抑制する作用がある。〕

\*2. 相互作用

併用注意（併用に注意すること）

薬 剤 名 等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ニューキノロン系抗菌剤 ・シプロフロキサシン ・ノルフロキサシン ・トスフロキサシン ・オフロキサシン 等 テトラサイクリン系抗生物質 ・ミノサイクリン ・ドキシサイクリン ・テトラサイクリン 等 骨代謝改善剤 ・エチドロン酸二ナトリウム	これらの薬剤の効果が減弱するおそれがあるので、投与間隔をできるだけあけるなど注意すること。	マグネシウムがこれらの薬剤と難溶性のキレートを形成し、これらの薬剤の吸収を阻害すると考えられる。
ベニシラミン		同時投与した場合、吸収率が低下するとの報告がある。
セフジニル		機序不明
リトドリン塩酸塩	CPK上昇があらわれることがある。	機序不明

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

重大な副作用

**マグネシウム中毒**：多量投与により、まれに（0.1%未満）中毒を起こし、熱感、血圧降下、中枢神経抑制、呼吸麻痺等の症状があらわれることがある。解毒にはカルシウム剤を静注する。

4. 高齢者への投与

高マグネシウム血症があらわれやすいので、用量に留意すること。〔高齢者では腎機能が低下していることが多い。〕

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。〔マグネシウムイオンは容易に胎盤を通過するため、まれに（0.1%未満）新生児に高マグネシウム血症を起こすことがある。〕

6. 小児等への投与

「慎重投与」の項参照。腸管粘膜に異常があつて、異常吸収を起こすことがある。

## \*7. 適用上の注意

### (1) 注 入、注 射

本剤の水溶液とサルファ剤、アルカリ炭酸塩・炭酸水素塩・酒石酸塩、可溶性リン酸塩、ヒ酸塩、臭化カリウム、臭化アンモニウム等を含む製剤と混合した場合、沈殿を生じることがあるので混合を避けること。

### (2) 注 射

静注単独投与の場合は、10%以下の濃度で徐々に投与することが望ましい。

## \*【薬効薬理】

本剤は内服において腸管粘膜から吸収されにくいことから腸管内で高張液状態となり、腸内水分及び分泌液の吸収を妨げると共に、組織から腸管腔に水分を吸収して貯留させる。そのため、腸壁が刺激され、蠕動運動が亢進して瀉下を招く。本剤の効果は吸収量に反比例し、その溶液の浸透圧に比例して大きくなる。本剤を筋注又は静注すると、血中の $Mg^{2+}$ が増加して $Ca^{2+}$ との平衡が破れて、中枢神経系の抑制と骨格筋、血管平滑筋及び子宮筋の弛緩が起こる。内服又はゾンデによる直接十二指腸注入によりOddi括約筋の弛緩を介して胆汁排泄を促す。

## \*【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：硫酸マグネシウム水和物 (Magnesium Sulfate Hydrate)

分子式： $MgSO_4 \cdot 7H_2O$

分子量：246.47

性 状：本品は無色又は白色の結晶で、味は苦く、清涼味及び塩味がある。本品は水に極めて溶けやすく、エタノール（95）にほとんど溶けない。本品は希塩酸に溶ける。

## \*【取扱上の注意】

配合変化：リン酸イオンと沈殿を生じることがあるので、リン酸を含有する製剤と配合する場合は注意する。

## 【包 装】

500g

## \*【主要文献】

日本薬局方解説書（廣川書店）

## \*【文献請求先】

富田製薬株式会社 学術室

〒771-0360 徳島県鳴門市瀬戸町明神字丸山85-1

TEL 088-688-0511 FAX 088-688-0565

製造販売元



富田製薬株式会社

徳島県鳴門市瀬戸町明神字丸山85-1